

協会通信・増刊号 制作事業者プロポーザル採点シート

実施日 令和8年4月20日（月）

◆ 事業者基本情報

事業者名：

提案方法：

審査者名：

◆ 評価項目

① 業界理解・実績

福祉業界の理解、対話を通じた制作実績及び高い「引き出し力」を有しているか

- ・ 福祉業界の理解の深さ

法人の歴史や理念を理解しているか

福祉関係団体等との協働実績があるか

社会・地域貢献の実績があるか

過去の福祉分野での制作実績があるか

- ・ 対話を通じた”引き出し力”

取材担当者が取材に専念できる体制があるか

<コメント>

② 取材・編集能力

職員の魅力を引き出し、読者の感情的共感を生むライティング・編集ができるか

- ・ インタビュー及び文章構成が優れているか

対象者（全職員）が明確であるか

全職員に向けて読みやすいものであるか

事務的なものになっていないか

- ・ 読者（職員）の共感を生む表現力がある

表紙が手に取って読みたくなるようなものになりそうか

職員の興味の引く記事になりそうか

記事の内容に「変革・共通認識・未来像」が組み込まれているか

写真、レイアウトの編集力が高いか

<コメント>

③ 実施体制

専門スタッフを適切に配置しているか

- 現地取材を前提としているか

- 体制・役割分担が明確である

- 連絡・調整の窓口が明確である

<コメント>

④ コストについて

予算内で最大限の効果を発揮できる仕様提案となっているか

- 増刷以外の追加費用の有無

- 出稿後のアフターフォローがあるか

- 発行後の効果についての説明・言及があるか

<コメント>

■ (任意・参考)

- 法人の発行目的（職員の主体性向上・未来像の共有）に合致

- テーマ「これからの京都総合福祉協会」に合致

- 信頼してまかせられるか

<コメント>

